

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-169	22-037	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
The UK Coronavirus Job Retention Scheme and smoking, alcohol consumption and vaping during the COVID-19 pandemic: evidence from eight longitudinal population surveys COVID-19 パンデミックにおける英国の雇用維持方法と喫煙、飲酒、ベープ使用の関係		
執筆者		
Green MJ, Maddock J, Di Gessa G, Wielgoszewska B, Parsons S, Griffith GJ, Croft J, Stevenson AJ, Huggins CF, Booth C, Wels J, Silverwood RJ, Patalay P, Hughes AD, Chaturvedi N, Howe LD, Fitzsimons E, Katikireddi SV, Ploubidis GB.		
掲載誌		
BMC Med. 2022 Sep 21;20(1):345. doi: 10.1186/s12916-022-02511-0.		
キーワード	PMID	
COVI-19、雇用状況、喫煙、ベープ使用、飲酒	36127702	
要旨		
<p>目的: 雇用状況の混乱は喫煙や飲酒習慣に影響を及ぼす。英国で COVID-19 パンデミックにおける一時休業が喫煙、飲酒、ベープ使用に及ぼした影響を検討する。</p> <p>方法: 8 コホート研究、27,841 人を対象に雇用状況と喫煙、飲酒 (週 4 回未満/一回 5 杯以上)、ベープ使用の有無を COVID-19 パンデミック以前および流行初期(2020 年 4-6 月)に調査した。各コホート研究で雇用状況による喫煙、飲酒、ベープ使用の多変量調整リスク比(ARR)をポアソン回帰で算出し、ランダム効果を用いたメタ分析を行い結果を統合した。継続雇用を参照群とした。</p> <p>結果: 一時休業および失業、継続失業は、喫煙、飲酒、ベープ使用との関連を認めなかった (ARR(95%信頼区間):喫煙 1.05(0.95-1.16), ベープ使用 0.89(0.74-1.08), 飲酒 1.03(0.94-1.13))。女性は、継続失業と喫煙との関連と一時失業とベープ使用との関連を認めたが、男性ではいずれの関連も認めなかった。</p> <p>結論: 英国の COVID-19 流行初期において一時休業や失業による喫煙、飲酒、ベープ使用のリスクは明らかではなかった。これらのリスクは主にコロナ流行前の特性により説明された。</p>		